

報道関係者各位

2017年7月11日
株式会社 神戸デジタル・ラボ

神戸デジタル・ラボ「ケア記録アプリ」に新機能「お薬手帳」 株式会社フリービット EPARK ヘルスケアと連携で

株式会社神戸デジタル・ラボ（本社：兵庫県神戸市中央区、代表取締役社長：永吉一郎、以下 KDL）が提供する介護事業所向け iPad アプリ「ケア記録アプリ」は7月19日の週より、株式会社フリービット EPARK ヘルスケア（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 伸明、以下フリービット EPARK ヘルスケア）様と連携し、従来の機能に加え、処方箋データが自動的に反映される「お薬手帳」機能を追加します。

■アプリ連携の経緯

電子お薬手帳アプリ「EPARK お薬手帳」を全国展開されているフリービット EPARK ヘルスケア様より、KDL が提供する「ケア記録アプリ」を利用する介護事業所にも同サービスを導入・提供できないかとお話をいただき、それに応える形で連携がスタートしました。

この連携により、これまで紙の処方箋や薬袋（やくたい）の表示を目視で確認していた介護事業所でも、処方箋を入所者のデータのの一つとしてデジタル管理できるようになりました。入所者や入所者家族、また介護事業所の職員にも分かりやすく共有できることで、それにかかる時間の低減を目指します。

■機能の詳細

「お薬手帳」機能は、「ケア記録アプリ」を利用している介護事業所の入居者が病院で処方を受け、調剤薬局などに処方箋を提出すると自動的にデータがアプリ内に転送されるものです。これまでの処方履歴も残っていきますので、薬の増減や変更も分かりやすく、複数の病院からの処方についても時系列に記録されるものです。（左図：機能トップ画面 右図：薬情報詳細画面）



※この機能はフリービット EPARK ヘルスケア様が提携する約 8,000 の調剤薬局と処方箋データが連動されます。ケア記録アプリの標準機能として搭載されますので、別途費用のかかるものではありません。

■介護業界向け「ケア記録アプリ」とは

介護老人福祉施設や通所介護事業所などに導入いただき、バイタルや食事量、排せつなど利用客の情報を記録するアプリケーションです。介護業界で多くなりがちな記録に関する業務を軽減します。



iPad を使い、手書き・キーパット・定型文などで情報を入力すると、「職員同士・ケアマネジャーとの情報共有がスムーズ」「転記が減り事務処理が楽」「過去のデータをいつでも端末から閲覧できる」などさまざまなメリットがあり、現在グループホームや特別養護老人ホームなど約 100 の事業所でご活用いただいております。

（利用料 初期費用無料、月額 5,000 円（税別）／1 台）※機能追加による利用料金の変動はありません。

※「ケア記録アプリ」詳細はこちら

<http://kaigosapuri.com/carerecord/>

【会社概要】

社名 : 株式会社 神戸デジタル・ラボ
代表者 : 代表取締役社長 永吉一郎
所在地 : (本 社) 〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル
(東京オフィス) 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-1-1 ヒューマックス恵比寿ビル
設立 : 1995 年 10 月
資本金 : 2 億 995 万円
従業員数 : 162 名 (2017 年 7 月現在)
URL : <http://www.kdl.co.jp/>

※記載されている会社名、製品・サービス名は、登録商標または商標です。

※プレスリリースに記載されたサービスの価格、仕様、内容、お問合せ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】 ※取材など随時対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 神戸デジタル・ラボ
担当 : ソリューション本部 安場 (やすば)、内海 (うつみ)
TEL : 078-335-5693
E-mail : kaigo-sapuri@kdl.co.jp